

水稲 別紙1-1 調査結果
 調査年月日:令和2年8月4日

調査場所	品種	A	B	C	D	E	発病度	発病程度	発病株率	発病ほ場	発生ほ場率	備考
1 明石市大久保町江井島2141~2143	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
2 明石市大久保町松陰1591-1~2	ヒノヒカリ	0	0	0	1	24	1.0	少	4.0	○		
3 明石市明南町1-7-1	キヌヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
4 明石市魚住町金ヶ崎830-1	あきたこまち	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
5 明石市二見町東二見原寺341-1	あきたこまち	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
6 加古郡播磨町野添1丁目1946	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
7 加古郡稲美町森安ヒロガサワ246	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
8 加古郡稲美町南場1106	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
9 加古郡稲美町加古見谷9631	コシヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
10 加古川市八幡町野村下村829-7	コシヒカリ	0	0	0	3	22	3.0	少	12.0	○		
11 加古川市平荘町磐1313	キヌヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
12 加古川市志方町細工所39-1	ヒノヒカリ	0	0	0	2	23	2.0	少	8.0	○		
14 高砂市北浜町西浜472-4	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
15 高砂市阿弥陀町阿弥陀北山127-1	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
17 加古川市平岡町山之上294-1	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
18 加古川市尾上町養田1-75	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
19 加古川市野口町水足1840	とねのめぐみ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
合計	17	0	0	0	6	419			1.4	3		
平均		0.0	0.0	0.0	0.4	24.6	0.4	少	1.4		18%	
明石市・播磨町地区合計	6	0	0	0	1	149			0.7	1		
明石市・播磨町地区平均		0.0	0.0	0.0	0.2	24.8	0.2	少	0.7		17%	
稲美町地区合計	3	0	0	0	0	75			0.0	0		
稲美町地区平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0		0%	
加古川市中北部地区合計	3	0	0	0	5	70			6.7	2		
加古川市中北部地区平均		0.0	0.0	0.0	1.7	23.3	1.7	少	6.7		67%	
高砂市・加古川市南部地区合計	5	0	0	0	0	125			0.0	0		
高砂市・加古川市南部地区平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0		0%	

葉いもち

発病程度

- A: 下葉は枯死し、ずり込み症状を呈する。(病斑面積率50%以上)
- B: かなり病斑が見られ軽いずり込み症状を呈する。(病斑面積率10%程度)
- C: 病斑がかなり見られる。(病斑面積率2%程度)
- D: 病斑がわずかに見られる。(病斑面積率0.5%程度)
- E: 病斑なし

発病度

$$\frac{(4 \times A + 3 \times B + 2 \times C + D) \times 100}{4 \times \text{調査株数}}$$

発病程度別基準

程度	無	少	中	多	甚
発病度	0	1~20	21~40	41~70	71以上

要防除密度の目安

いもち病の発生は気象条件に大きく影響される。

発病に好適な条件では短期間に激発することがあるので、早期発見に努め、適期防除を行う。

- 1 育苗から植付直後まで高温多雨で、苗に症状が認められたら直ちに防除する。
- 2 本田で、5~6月の高温多雨少照、7月~成熟期の低温多雨少照の条件では多発しやすい。